

2021年 第37回 オジロワシ・オオワシ渡来状況調査結果

日本野鳥の会福井県 調査担当 小嶋 明男

- 1 目的 三方五湖に飛来するオジロワシ・オオワシの個体数と越冬期の生態の把握
- 2 調査日時 2021年2月7日(日) 8:00~12:30
- 3 天候 天気:晴れのち曇り 気温:5~11℃ 風:N1
- 4 調査方法 三方湖・水月湖・菅湖の湖岸7定点と移動定点(2名)観察および無線連絡による追跡観察
- 5 調査結果

(1) 確認できた海ワシ オジロワシ1個体

(2) 確認できた海ワシの特徴

・オジロワシ成鳥♀

頭頸部は淡褐色、嘴は黄色・尾羽は白色

(3) 主な行動

- ・調査時間中、一度飛び立ったが、すぐに元の止まっていた近くの落葉広葉樹の太い枝に止まった(約一分間飛行)
- ・調査時間中、上記以外は、落葉広葉樹の太い枝に止まったままであった

(4) 行動範囲

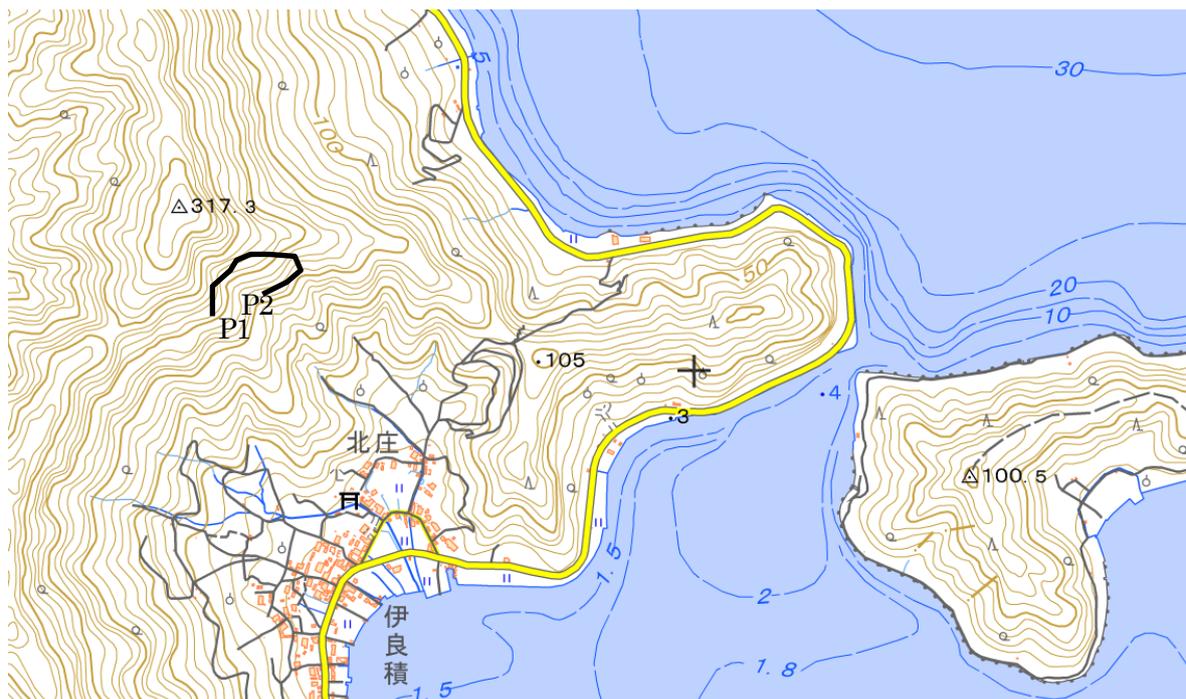
- ・三方湖北東部の湖を囲む斜面の標高150m付近



☆2021.1.28 三方湖 松田信廣氏撮影

6 行動記録

- 9:14 317.3ピーク(「大黒山」もしくは「青井の山」)の南東斜面の落葉広葉樹に止まっているのを発見(横山大八氏) 下図「P1」
- 10:32 飛び立ち、斜面上空を滑空
- 10:33 落葉広葉樹に止まる 下図「P2」
- 12:30 止まり継続



7 最近の三方五湖におけるオジロワシの越冬個体

観察期間	性・齢状況	初認～終認
2008.11～2009.2	第5回冬若鳥1 別の1個体は齢不明	2008.12.7～2009.1.31
2009.11～2010.2	成鳥1	2009.11.28～2010.1.17
2010.11～2011.2	成鳥1(雌) 第3回冬若鳥1(雄)	2010.12.19～2011.2.20
2011.11～2012.2	第2(3)回冬若鳥1 第4回冬若鳥1	※2012.2.5～2012.2.20 (2週間のみ立寄り)
2012.11～2013.2	越冬確認なし	※渡りの途中に立寄ったと思われる成鳥1 2013.3.3～2013.3.5(3日間)
2013.11～2014.2	成鳥2(雄・雌)	2014.1.18～2014.2.22
2014.11～2015.2	成鳥2(雄・雌)	2014.12.28～2015.2.24
2015.11～2016.2	成鳥2(雄・雌)	2015.12.30～2016.2.28
2016.11～2017.2	成鳥1(雌) 第2～3回冬若鳥1(雄)	2016.12.18～2017.2.28
2017.11～2018.2	成鳥1(雌) (若鳥・雄1)	2017.12.04～2018.2.22 (若・雄 2017.12.14～15)
2018.11～2019.2	成鳥1(雌)	2018.12.14～2019.2.18
2019.11～2020.2	成鳥1(雌)	2019.12.6～2020.2.21
2020.11～2021.2	成鳥1(雌)	2020.12.17～2021.

今回でこの調査が37回目となる。オジロワシは2個体越冬が通常であったが、2009年冬に1個体だけの越冬となり、その2年後の冬には2月に入って2週間だけの滞在となった。そして2012年には、ついに越冬個体がなくなった。

ところが、2013年の冬からは4年連続2個体の越冬となり、その状態が続くかと思っていたが、2017年の冬からは1個体のみの越冬となって現在まで続いている。

三方五湖において、オジロワシにとって必要な餌が捕獲できることが、越冬を可能とする条件と考える。そのように考えると、かつて2個体越冬していたのが、最近1個体しか越冬できないのはそれだけ餌が確保できないのであろう。捕獲の観察事例は圧倒的に中型から大型の魚類が多いので、これら魚類が生息可能となる生態系全体の再生が求められるといえる。

8 今回の調査で観察された鳥類 計23科54種

キジ科/キジ カモ科/マガン・オカヨシガモ・ヨシガモ・ヒドリガモ・マガモ・カルガモ・ハシビロガモ・オナガガモ・コガモ・ホシハジロ・キンクロハジロ・スズガモ・ホオジロガモ・ミコアイサ カイツブリ科/カイツブリ・カンムリカイツブリ・ハジロカイツブリ ウ科/カワウ サギ科/アオサギ クイナ科/オオバン シギ科/イソシギ カモメ科/カモメ・セグロカモメ・オオセグロカモメ ミサゴ科/ミサゴ タカ科/トビ・オジロワシ・ノスリ キツツキ科/コゲラ・アカゲラ・アオゲラ モズ科/モズ カラス科/カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス シジュウカラ科/ヤマガラ・シジュウカラ ヒヨドリ科/ヒヨドリ ウグイス科/ウグイス エナガ科/エナガ メジロ科/メジロ ヒタキ科/シロハラ・ツグミ・ジョウビタキ・イソヒヨドリ スズメ科/スズメ セキレイ科/セグロセキレイ アトリ科/カワラヒワ・ウソ・イカル ホオジロ科/ホオジロ・カシラダカ・アオジ

9 観察された哺乳類 ニホンザル

10 調査者(含む観察会担当者)

鈴木文夫・横山大八・柳町邦光・酒井敬治・山根眞一・松田信廣・松村俊幸・村上公輝・村上千夏子・堀田雅貴・平城常雄・田川亨・吉田麻里子・辻義次・堀孝敏・堀田高久・井尻雅己・田中広幸・大塚育恵・矢野尊逸・武田真澄美・小嶋明男